

## 第51回原村消防団 消防ポンプ操法大会

6月14日、原村消防団消防ポンプ操法大会が行われ、ポンプ車操法の部に2チーム、小型ポンプ操法の部にチームが出場しました。選手らは、5月から毎日練習に励んだ成果を十分に発揮し、全力で技能を披露していました。なお、ポンプ車操法の部では第1分団第2機関Bチーム、小型ポンプ操法の部では第2分団第1機関Aチームがそれぞれ優勝し、ラッパ隊と共に7月5日に行われた諏訪地区大会に出場しました。



## 国際交流クラブ原村に 県功績表彰

6月8日、長野県県民文化部の「国際化推進」「消費生活活動」分野で、長年にわたって功績のあった団体や個人を称える表彰式が県庁で行われました。原村からは「国際交流クラブ原村(代表:小林晴美さん)」が選ばれ、表彰状が授与されました。

国際交流クラブ原村は、食を通じて諸外国と住民との交流や友好都市ニュージーランドブケコへの交流において、原中学生のホームステイ派遣、ブケコへから来村の際にはホームステイ受入先の調整、ウェルカムパーティの企画・開催など中心的役割を担ってきました。こうした活動に長年尽力した功績が称えられ今回表彰されました。



## 第31回八ヶ岳開山祭

6月7日、阿弥陀岳山頂で第31回八ヶ岳開山祭が行われました。舟山十字路で受付を済ませた参加者は、各々のペースで式典が行われる阿弥陀岳山頂を目指しました。この日は100名以上が参加し、子どもからお年寄りまで幅広い年代が登山を楽しみました。山頂についた参加者は、お昼を食べたり記念撮影をしたりして仲間と親睦を深めていました。山頂付近は雲が多く、時より雲が晴れると八ヶ岳の山々や富士山が見え、参加者は一斉に写真を撮ったり、きれいな景色を眺めながら談笑をしました。

式典では、山の安全を祈願する神事が行われたほか、八ヶ岳で遭難事故にあった登山者への献花、黙祷が行われました。また、参加者全員で「雪山讃歌」を歌い、集合写真を撮って式を閉じました。



## 原小学校 マラソン記録会

5月29日、原小学校でマラソン記録会が行われました。この日は曇り空で、マラソンをするにはちょうど良い天気となりました。

校庭をスタートした児童は、各々のペースで駆け抜けていくと、友達を追い越したり追い越されたりと競い合う姿が多く見られ、記録会に向けて練習してきた成果を発揮しようと一生懸命に走っていました。ゴールして先生から順位票をもらい自分の順位を確認すると、順位票を嬉しそうに握りしめ友達とマラソンの成果について楽しく話していました。全員がゴールすると、応援してくれた先生や保護者にお礼のあいさつをしてマラソン記録会を閉じました。

## こひつじ幼稚園田植え



5月29日、こひつじ幼稚園で田植えが行われました。田んぼを提供している野明貞夫さんの指導のもと、LCVお助けマンのお兄さんお姉さんと一緒に田植えをしました。この日は曇り空で少し肌寒い日となりましたが、園児たちは裸足で田んぼへ入り一列ずつ丁寧に苗を植えていました。なお、収穫したお米は、今年も盲導犬育成の支援に役立てるそうです。

## 新割機取扱い講習会



村では、村内の間伐材の有効活用を図り、バイオマスエネルギー活用による森林育成を目的に、新割機の貸付けを行っています。この貸付けに先立ち、6月6日に新割機取扱い講習会が開かれました。講習会には10名が参加し、販売元の業者による説明を聞いた後、実際に新割機を使って間伐材を割りました。参加者は、「オノでは割れない生木なども割れる」「薪ストーブ用に、これなら簡単に薪を作ることができて便利」と好評でした。



## 災害に強い村を目指して



6月3日、原村建設事業協同組合と村との「災害時における応急措置に関する協定書」調印式が行われました。この協定は、以前に村と原村建設協会との間で結ばれていましたが、平成26年11月20日に原村建設事業協同組合が設立したことにより、改めて災害協定を締結することになりました。協定内容は、災害時に村が建設事業協同組合の協力を受けて行う応急対策の必要な事項について定めています。

清水村長は「地震や噴火が多発しており、村においても近い将来の大災害が心配される中、建設事業協同組合と村との連携を強化し、災害に強い村づくりを進めていきたい」と呼びかけました。

調印式の後、村職員と同組合で、ズームラインの車道・歩道のボランティア整備を行いました。